



Fiery options 1.5 Help (server)

© 2023 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2023年10月12日

目次

サーバーで使用する Fiery オプションのライセンス管理	5
ライセンスを管理する	5
プロキシサーバーの設定	5
Fiery オプション管理ページへのアクセス	6
ライセンス通知	6
Fiery オプションのアクティベーション	6
Fiery オプションを自動でアクティベートする	7
ライセンスアクティベーションコード (LAC) の連続アクティベート	7
一時ライセンスを自動アクティベートする	8
Fiery オプションを手動でアクティベートする	9
アクティベート済み Fiery オプションの復元	9
Fiery オプションを自動で復元する	10
Fiery オプションを手動で復元する	10
Fiery オプションのトラブルシューティング	10
アクティベートするとエラーメッセージが表示される	11
無効なシステムクロック設定	11
エラーメッセージ	11

サーバーで使用する Fiery オプションのライセンス管理

Fiery server にインストールされている Fiery オプションを使用するには、まず一意のライセンスアクティベーションコード (LAC) を取得し、ライセンスをアクティベートする必要があります。

ライセンスの取得

Fiery オプションのライセンスは、Fiery 販売店、プリンター製造元または [EFI eStore](#) から入手できます。

ライセンスを取得すると、次のタスクを実行できます。

- [Fiery オプションのアクティベーション](#) (7 ページ)
- [アクティベート済み Fiery オプションの復元](#) (9 ページ)

メモ：Fiery オプションは、Fiery System ソフトウェア FS400/FS400 Pro 以降の Fiery servers サーバーでのみ復元できます。

Fiery オプション管理ページで、Fiery オプションのアクティベートと復元ができます。詳細は [Fiery オプションの管理](#) を参照してください。

ライセンスを管理する

ライセンス管理には Fiery オプションのアクティベーションおよび復元が含まれます。EFI ライセンスサーバーが LAC 関連タスクを管理します。

ライセンスの管理は、Fiery server がインターネットに接続されているかどうかによって手順が異なります。

- Fiery server がインターネットに接続されている場合は、情報は Fiery server と EFI ライセンスサーバーの間で自動的に転送されます。
- Fiery server がインターネットに接続されていない場合は、Fiery server と EFI ライセンスサーバーの間で情報を手動で転送する必要があります。

組織がプロキシサーバー経由でインターネットに接続している場合は、プロキシサーバーの設定を指定する必要があります。

プロキシサーバーの設定

コンピューターからライセンスサーバーに接続しようとしてもインターネット接続が検出されない場合は、所属組織がプロキシサーバーを使用してインターネットに接続している可能性があります。この場合はプロキシサーバーを設定してからライセンス処理を行います。

- 1 インターネット接続が検出されないというメッセージが表示された場合は、**ネットワーク設定**をクリックします。
- 2 必要な値を入力し、**適用**をクリックします。

Fiery オプション管理ページへのアクセス

Fiery オプションの管理ページには、アクティベートされている Fiery オプションと、アクティベートできるオプションが表示されます。Fiery オプションの管理ページには、次のいずれかの方法でアクセスできます。

- **Command WorkStation** : デバイスセンターで > 一般タブ > 一般情報を選択し、**管理**をクリックします。
- **WebTools** : ホームタブで、**管理**をクリックします。
- **Fiery オプションパッケージのライセンス通知** : **ライセンスのアクティベートリンク**をクリックします。詳細は、[ライセンス通知](#) (6 ページ) を参照してください。

Fiery オプション管理ページがデフォルトの Web ブラウザーで開きます。

ライセンス通知

インストールされている Fiery オプションのライセンスが有効期限に近づいたり、期限切れになったりした場合に通知が表示されます。有効期限が近いライセンスの通知は、ライセンスの有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、10 日前に表示されます。有効期限までの 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。通知は次の場所に表示されます。

- **Command WorkStation** ジョブセンターの右上角
- **Command WorkStation** のホームタブに一覧表示されている **Fiery server** 上

通知には、次のリンクが表示されます。

- **ライセンスのアクティベート** : Fiery オプション管理ページを開き、ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートします。ライセンスのアクティベートは、ライセンス有効期限までの 90 日間表示されます。
- **詳細情報** : Fiery オプションのライセンス管理ヘルプを開きます。
- **詳細アイコン** (3 つのドット) は、選択した通知を次の有効期間まで非表示にします。しかし、有効期限までの最後の 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。

メモ : Fiery オプションのライセンス有効期限は、デバイスセンター、WebTools のホームタブ、Fiery オプション管理ページに表示されます。

Fiery オプションのアクティベーション

Fiery オプションをアクティベートするときは、次の情報を記録します。

- Fiery server の ID。ID は設定情報ページの BIOS 設定の下に記載されています。Command WorkStation の場合、ID はデバイスセンターの一般タブのサーバー設定に記載されています。RIP をクリックすると、右側の BIOS 設定の下にも ID が記載されています。
- オプション名
- ライセンスアクティベーションコード (LAC)

オプションをアクティベートしている Fiery server がインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動でアクティベートできます。詳細は [ライセンスの管理 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

Fiery オプションを自動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的にアクティベートできます。

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます。([Fiery オプション管理ページへのアクセス \(6 ページ\)](#) を参照)
- 2 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**アクティベート**、**続ける**をクリックします。
- 3 ライセンスアクティベーションコードフィールドに LAC を入力し、**続行**をクリックします。
- 4 **アクティベート**をクリックします。
- 5 アクティベート後に再起動する必要がある場合は、**再起動**をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、**終了**をクリックします。アクティベート後に再起動する必要がない場合は、**終了**をクリックします。

ライセンスアクティベーションコード (LAC) の連続アクティベート

ライセンスの有効期間が 90 日以下の Fiery オプションでは、現在のライセンスを使用しながら、新しい (連続) 期間ライセンスをアクティベートできます。現在のライセンスは有効期限が切れるまで有効で、その後は連続する期間ライセンスがシームレスに開始されます。これにより、現在のライセンスの有効期限と連続する期間ライセンスの開始との間にギャップが生じないようになります。

現在の期間ライセンスをアクティベートしたのと同じ方法で、連続期間ライセンスをアクティベートできます。詳細情報については、[Fiery オプションを自動でアクティベートする \(7 ページ\)](#) を参照してください。

追加情報

- 連続期間ライセンスは Fiery システムソフトウェア FS400/400 Pro 以降を搭載する Fiery servers にインストールされている Fiery オプションでのみアクティベートできます。
- 連続期間ライセンスをアクティベートするには、Fiery server がインターネットに接続されている必要があります。
- ライセンスの有効期限の通知は、期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、10 日前および 10 日前からは毎日表示されます。期限 90 日前通知が表示された後は、いつでも連続期間ライセンスをアクティベートできます。
- 連続期間ライセンスをアクティベートした後でも、現在のライセンスを全期間利用できます。連続期間のライセンスの有効期間は、現在の期間ライセンスの満了後から開始されます。
- 現在、トライアルライセンスが有効になっている場合も、連続期間ライセンスを同時に有効にすることができます。連続期間ライセンスの有効期間は、トライアルライセンスの有効期限が切れた後から開始されます。
- 現在のライセンスの有効期限が切れる前に、連続した期間ライセンスがアクティベートされていない場合、Fiery オプションは有効期限の後に使用できなくなり、新しいライセンスを取得する必要があります。

一時ライセンスを自動アクティベートする

Fiery オプションを初めてインストールするときに EFI ライセンスサーバーが利用できない場合は、一時ライセンスを使用して Fiery オプションのアクティベートを続行できます。Fiery オプション管理ページで一時ライセンスをアクティベートできます。

1 Fiery オプション管理ページには、次のいずれかの方法でアクセスします。

- Command WorkStation のデバイスセンターで一般タブ、一般情報を順にクリックし、管理をクリックします。
- WebTools のホームタブで、管理をクリックします。

Fiery オプション管理ページで LAC をアクティベートできない場合は、ライセンスサーバーは使用できないが一時ライセンスはアクティベートできるというメッセージが表示されます。

2 一時ライセンスをアクティベートボタンをクリックします。

3 再起動をクリックします。

一時ライセンスの有効期限は、デバイスセンター、WebTools のホームタブ、Fiery オプション管理ページに表示されます。

追加情報

- 一時ライセンスオプションは、Fiery システムソフトウェア FS400/400 Pro 以降が搭載された Fiery servers にインストールされている Fiery オプションでのみ使用できます。
- 一時ライセンスをアクティベートするには、Fiery server がインターネットに接続されている必要があります。

- 以下の場合にのみ一時ライセンスをアクティベートできます。
 - EFI ライセンスサーバーを使用できない場合
 - Fiery オプションを初めてインストールしている間
- Fiery システムソフトウェアを再インストールする場合は、一時ライセンスをアクティベートできません。
- 一時ライセンスは 35 日間のみ有効です。この期間中に LAC をアクティベートしてください。

Fiery オプションを手動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、Fiery ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションをアクティベートします。

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます。(Fiery オプション管理ページへのアクセス (6 ページ) を参照)
- 2 使用許諾契約の条件に同意する場合は、アクティベート、続けるをクリックします。
- 3 ライセンスアクティベーションコードフィールドに LAC を入力し、続行をクリックします。
- 4 続行をクリックして、手動処理を進めます。
- 5 要求ファイルの作成をクリックしてファイルを保存します。
- 6 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 7 ブラウザーを開き、<https://licensing.fiery.com/>にアクセスします。
- 8 参照をクリックし、要求ファイルを選択してからアップロードをクリックします。
- 9 続行をクリックします。
- 10 ライセンスファイルダウンロードをクリックしてファイルを保存します。
- 11 最初にライセンスアクティベーションコードを入力したコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 12 ライセンス生成ウィンドウに戻り、はいをクリックします。
- 13 参照をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、アクティベートをクリックします。
- 14 アクティベート後に再起動する必要がある場合は、再起動をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、終了をクリックします。アクティベート後に再起動する必要がない場合は、終了をクリックします。

アクティベート済み Fiery オプションの復元

すでにアクティベート済みのオプションが使用できず、コンピューターからライセンスサーバーにアクセスしてもオプションを復元できない場合は、Fiery オプション管理ページを使用してオプションを復元できます。

メモ: Fiery オプションは、Fiery System ソフトウェア FS400/FS400 Pro 以降の Fiery servers でのみ復元できます。

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動で復元できます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

Fiery オプションを自動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、以前アクティベートされた Fiery オプションを自動的に復元できます。

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます。([Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)
- 2 右上角の詳細設定をクリックし、復元をクリックします。
Fiery オプションが復元されます。
- 3 完了をクリックします。

Fiery オプションを手動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと EFI ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、EFI ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションを復元します。

- 1 Fiery オプション管理ページを開きます。([Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)
- 2 右上角の詳細設定をクリックし、復元をクリックします。
- 3 続行をクリックして、手動処理を進めます。
- 4 要求ファイルの作成をクリックしてファイルを保存します。
- 5 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 6 ブラウザーを開き、licensing.efi.com にアクセスします。
- 7 ファイルの選択をクリックし、要求ファイルを選択して、要求ファイルのアップロードをクリックします。
ライセンスファイルが生成されます。
- 8 ライセンスファイルダウンロードをクリックしてファイルを保存します。
- 9 オプションを復元するコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 10 ライセンス生成ウィンドウに戻り、はいをクリックします。
- 11 参照をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、復元をクリックします。

Fiery オプションのトラブルシューティング

Fiery オプションの管理中に発生した問題をトラブルシューティングできます。

アクティベートするとエラーメッセージが表示される

エラーの詳細情報と対処策を示すエラーメッセージが表示されます。

- 1 エラーについての詳細は、[エラーメッセージ](#) (11 ページ) を参照してください。テクニカルサポートに連絡するように指示するメッセージが表示された場合は、まず診断ログファイルを生成する必要があります。
- 2 診断ログファイルを生成するには、Fiery オプション管理ページを開きます ([Fiery オプション管理ページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)
- 3 右上角の詳細設定アイコンをクリックし、診断ログをクリックして診断ログファイルを生成します。
- 4 テクニカルサポートに連絡する場合は、次の情報を送付する必要があります。
 - Fiery server の ID。詳細については、[Fiery オプションのアクティベーション](#) (7 ページ) を参照してください。
 - アクティベートしようとしているオプションの名前
 - ライセンスアクティベーションコード (LAC)
 - 診断ログ

無効なシステムクロック設定

システムクロックの日付と時刻の設定が正しくない場合、コンピュータを EFI ライセンスサーバーに接続できないことがあります。この場合は、コンピュータの時計をリセットしてください。

エラーメッセージ

エラーメッセージにはエラーの詳細情報と対処策が表示されます。エラーメッセージは、ライセンスアクティベーションソフトウェアと EFI ライセンス Web サイトに表示されます。

より詳細な情報やサポートが必要な場合には、登録ユーザーは [Fiery Communities](#) でディスカッションを始められます。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
ライセンスアクティベーションソフトウェアから		
OFA0020	LAC の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	LAC の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
OFA0010	選択したライセンスファイルは無効です。別のファイルを選択して再実行してください。	手動アクティベーション中に、EFI ライセンス Web サイトからライセンスファイルが取得されました。アップロードするライセンスファイルが正しく選択されていることを確認してください。 まだエラーが発生する場合は、Fiery オプションを復元して再度アクティベートしてください。
OFA0090	内部エラー。EFI テクニカルサポートに電話してください。	ライセンスファイルに問題があります。アクティベーション処理を最初からやり直してください。まだエラーが発生する場合は、オプションを復元して再度アクティベートしてください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。
OFA0060	エラー<エラー番号> プロキシ設定が不正か、あるいはプロキシサーバーがダウンしています。	インターネット接続がありません。プロキシ設定が正しいことを確認して再実行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0030	インターネット接続を確立できません。	インターネット接続がありません。プロキシ設定が正しいことを確認して再実行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0080	エラー<エラー番号> ライセンスセッションは期限切れです。ライセンスセッションを再開してください。	ライセンスアクティベーションソフトウェアは、これよりも後に別のブラウザウィンドウですでに使用されています。使用中のウィンドウを閉じてから、新規に開いて作業を続行します。
OFA00105	エラー<エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。	ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを提示してください。
OFA0070	エラー<エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しています。Command WorkStation を再インストールして再実行してください。	Command WorkStation を再インストールして再実行してください。 Windows では、コントロールパネル>プログラムの追加と削除を選択し、Fiery ユーザーソフトウェアをメンテナンスモードで起動します。修復オプションを選択し、Command WorkStation を選択します。 Mac OS では、Fiery Software Uninstaller を使用して Command WorkStation をアンインストールし、再度 Command WorkStation をインストールします。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
OFA0050	要求されたオプションをアクティベート解除できません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再試行してください。それでも解決しない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
OFA0040	要求されたオプションを再アクティベートできません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベートを再試行してください。それでも解決しない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
OFA00115	復元可能なオプションはありません。	このコンピューターではアクティベート済みのライセンスが見つかりません。すでにアクティベートされたライセンスがある場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
EFI ライセンスサーバーから		
EBIS0004	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。
EBIS0007	このオプションはすでにアクティベートされています。	LAC がアクティベートするオプションに適切であることを確認してください。
EBIS0016	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。 別のコンピューターで使用しているライセンスをアクティベート解除すれば、現在使用しているコンピューターでアクティベートできます。
EBIS0018	最初にアップロードする要求ファイルを選択する必要があります。	送信された要求ファイルが正しくないか、要求ファイルが破損しています。別の要求ファイルを送信してください。再度エラーが発生した場合は、要求ファイルを再生成してください。
EBIS0025	ライセンスをアクティベートできません : エラーコード <番号>	EFI ライセンスサーバーでエラーが発生しました。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコード、LAC、使用している Fiery サーバーのシリアル番号を伝えてください。
EBIS0002	EFI ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。	EFI ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
EBIS0006	<p>ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートできません。</p> <p>LAC でアクティベートした機能が使用している製品に適切であることを確認してください。</p>	LAC でアクティベートした機能が使用している Fiery サーバーモデルに適切であることを確認してください。
EBIS0011	<p>使用しているシステムはこのオプションに含まれている一部の機能をサポートしていません。続行しますか？</p>	<p>LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はサポートされていません。サポートされている機能のみに有効な LAC を新規に取得してください。</p> <p>このまま続行すると、サポートされていない機能が使用できなくなり、LAC も使用できなくなります。</p>
EBIS0008	<p>このオプションの中には、すでにアクティベートされている機能があります。続行しますか？</p>	<p>LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はすでにアクティベート済みです。まだアクティベートされていない機能にのみ有効な LAC を新規に取得してください。</p> <p>このまま続行すると、同一の機能に 2 回課金されます。</p>
EBIS0026	<p>ライセンスをアクティベート解除できません：エラーコード<番号></p>	<p>Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。</p>
EBIS0024	<p>ライセンスを再アクティベートできません：エラーコード<番号></p>	<p>Fiery オプションを復元し、アクティベートを再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。</p>
EBIS0027	<p>このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。</p>	<p>このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。</p>